

この駅には長らく列車が来ませんでした 震災に伴う原発事故の影響で 常磐線の不通区間の中間駅になってしまったからです 日本のどこにでもありそうな 民家のような駅舎の窓や扉にはベニヤ板が打ち付けられ 何年も風雨にさらされていました 夜の森名物の桜だけは毎年咲き続けていました 先日常磐線は完全に復旧し 夜ノ森駅も営業を再開しました 地元の方々にはどんなに嬉しい日だったことでしょう 今はこの駅舎は撤去され 美しく機能的な駅に生まれ変わっています



これが完成した絵です



1、瓦屋根は意外にも難しいです 特にはがきサイズに短時間で描くには 不向きな題材です



2、駅の顔である「駅名板」と「玄関」いつも人物を描けばよかったと後悔しています



3、飲み物の自動販売機 これも「生活感」を表現するには良い題材です



4、「駅前タクシー」を一台描いておくと 駅が営業中ということを表現できます



5、駅舎脇の桜 満開の桜ほど描きにくい樹はほかにはないです 桜が真っ赤だったら楽です



6、桜の花に見え隠れる幹や枝 これも「花とのせめぎ合い」で仕上げていきます